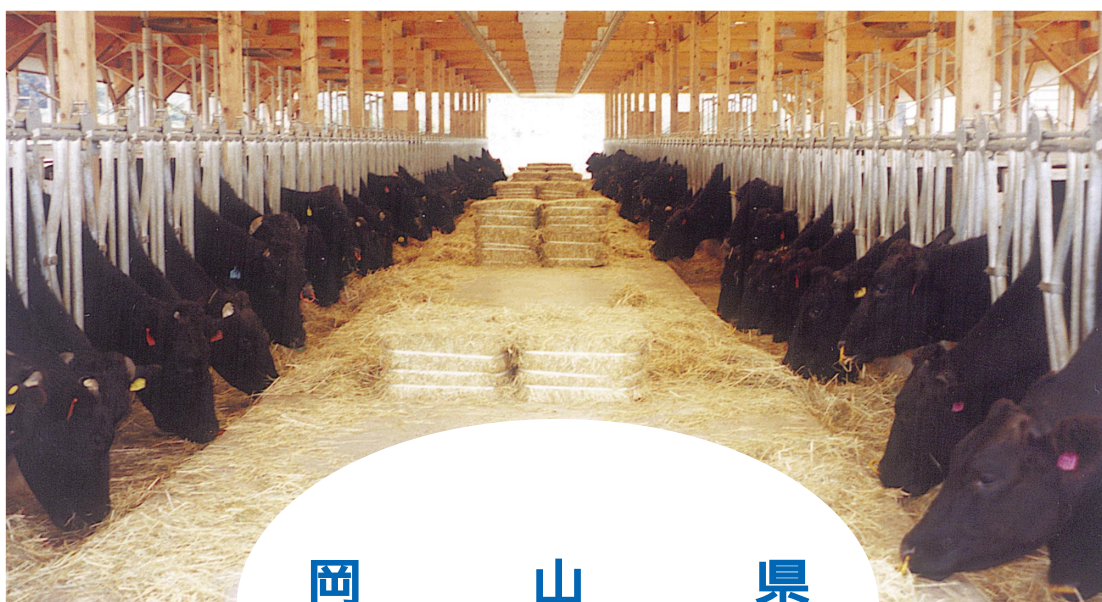


平成12年度新酪肉基本
方針啓発普及事業

新しい世紀の酪農・肉用牛

岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画

(平成10年度～平成22年度)



岡 山 県

社団法人 岡山県畜産会



酪農及び肉用牛生産の近代化に関する基本方針

1 . ゆとりある生産性の高い経営体の育成・確保

土地基盤に立脚した経営体の育成

ゆとりある生産性の高い経営の実現

酪農経営及び肉用牛経営の後継者の養成と円滑な継承

2 . 環境問題への適切な対応

地域の実情に即した家畜排せつ物処理施設の整備

耕種農家との連携強化による堆肥流通のシステム化

3 . 流通加工の合理化

生乳の流通・乳業の合理化

肉用牛及び牛肉の流通の合理化

4 . 新鮮で安全性に富む生産物の供給

5 . 生産者と消費者とのパートナーシップの構築

消費者への牛乳・乳製品及び牛肉等の情報の提供

生産者と消費者との交流による相互理解

6 . 安全性の確保等

家畜衛生及び畜産物の安全性の確保

家畜改良増殖の推進及び新技術の開発・普及

畜産経営支援組織の育成

生乳の生産目標並びに乳用牛及び肉用牛の飼養頭数の目標（平成22年度）

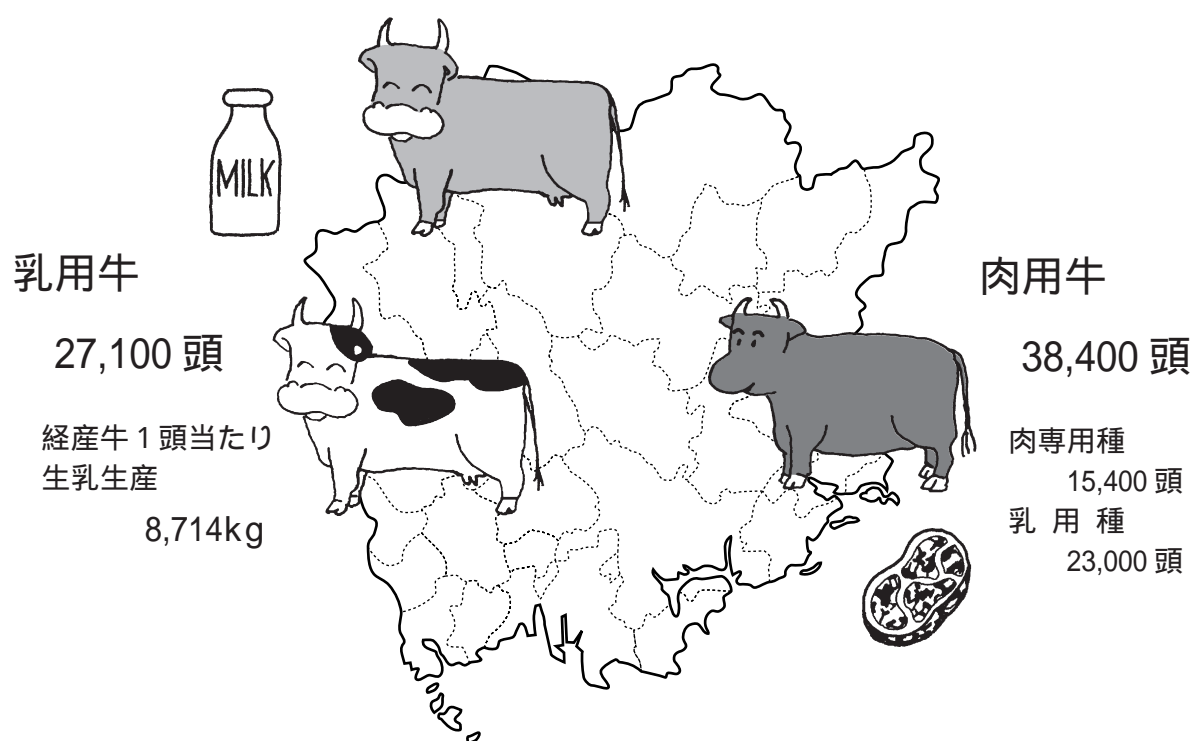
1．生乳の生産目標及び乳牛の飼養頭数の目標

品 種	総 頭 数	成 牛 頭 数	経産牛頭数	経 産 牛 1 頭 当 たり 年 間 搾 乳 量	生乳生産量
	頭	頭	頭	kg	t
ホルスタイン種	24,400	19,640	18,600	9,000	167,400
ジャージー種	2,700	2,110	2,000	6,050	12,100
合 計	27,100	21,750	20,600		179,500

2．肉用牛の飼養頭数の目標

（単位：頭）

肉用牛総頭数	肉 専 用 種				乳 用 種
	繁 殖 雌 牛	肥 育 牛	そ の 他	計	
38,400	5,300	7,400	2,700	15,400	23,000



近代的な酪農経営方式及び肉用牛経営方式の指標

1. 酪農経営方式

(1) 単一経営

方式名		排せつ物 処理方式	飼養頭数 規模 (経産牛頭数)	経産牛1頭 当り年間 搾乳量	分娩間隔	更新産次	経産牛1頭 当飼養管理 労働時間	生産 コスト (生乳1kg当)	飼料自給率 (TDN換算)	酪農所得	排せつ物 処理コスト (経産牛1頭当)
			頭	kg	か月	産次	時間	円	%	千円	千円
ホルスタイン種	フリーストール・ロボット搾乳	堆肥化 (堆肥センター)	180	10,000	13.0	4.7	32.7	65.9	34.0	30,852	66
	フリーバーン・ミルクキングバラー	堆肥化 (堆肥センター)	100	9,000	13.0	4.7	46.6	70.9	41.0	11,698	62
ジャージー種	つなぎ飼い・パイプライン	堆肥化	50	7,000	12.5	4.8	70.7	80.4	52.0	16,550	49
	フリーバーン・ミルクキングバラー	堆肥化	80	7,000	12.5	4.8	56.3	78.9	52.0		38

ゆとりある酪農

酪農ヘルパーの活用
放し飼い方式の搾乳
ロボットの導入
公共育成牧場の活用

環境に やさしい酪農

良質堆肥の生産
堆肥センターの活用
耕種農家との連携



(2) 新規就農

方式名	排せつ物 処理方式	飼養頭数 規模 (経産牛頭数)	経産牛1頭 当り年間 搾乳量	分娩間隔	更新産次	経産牛1頭 当飼養管理 労働時間	生産 コスト (生乳1kg当)	飼料自給率 (TDN換算)	酪農所得	排せつ物 処理コスト (経産牛1頭当)	
		頭	kg	か月	産次	時間	円	%	千円	千円	
ホルスタイン種	つなぎ飼い・ パイプライン	堆肥化	40	9,000	13.0	4.7	71.3	68.8	52.0	9,887	73

(3) 他作物との複合経営

方式名	排せつ物 処理方式	飼養頭数 規模 (経産牛頭数)	経産牛1頭 当り年間 搾乳量	分娩間隔	更新産次	経産牛1頭 当飼養管理 労働時間	生産 コスト (生乳1kg当)	飼料自給率 (TDN換算)	酪農所得	排せつ物 処理コスト (経産牛1頭当)	
		頭	kg	か月	産次	時間	円	%	千円	千円	
ホルスタイン種	つなぎ飼い・ パイプライン	堆肥化	40	9,000	13.0	4.7	71.3	76.4	45.0	7,630	69



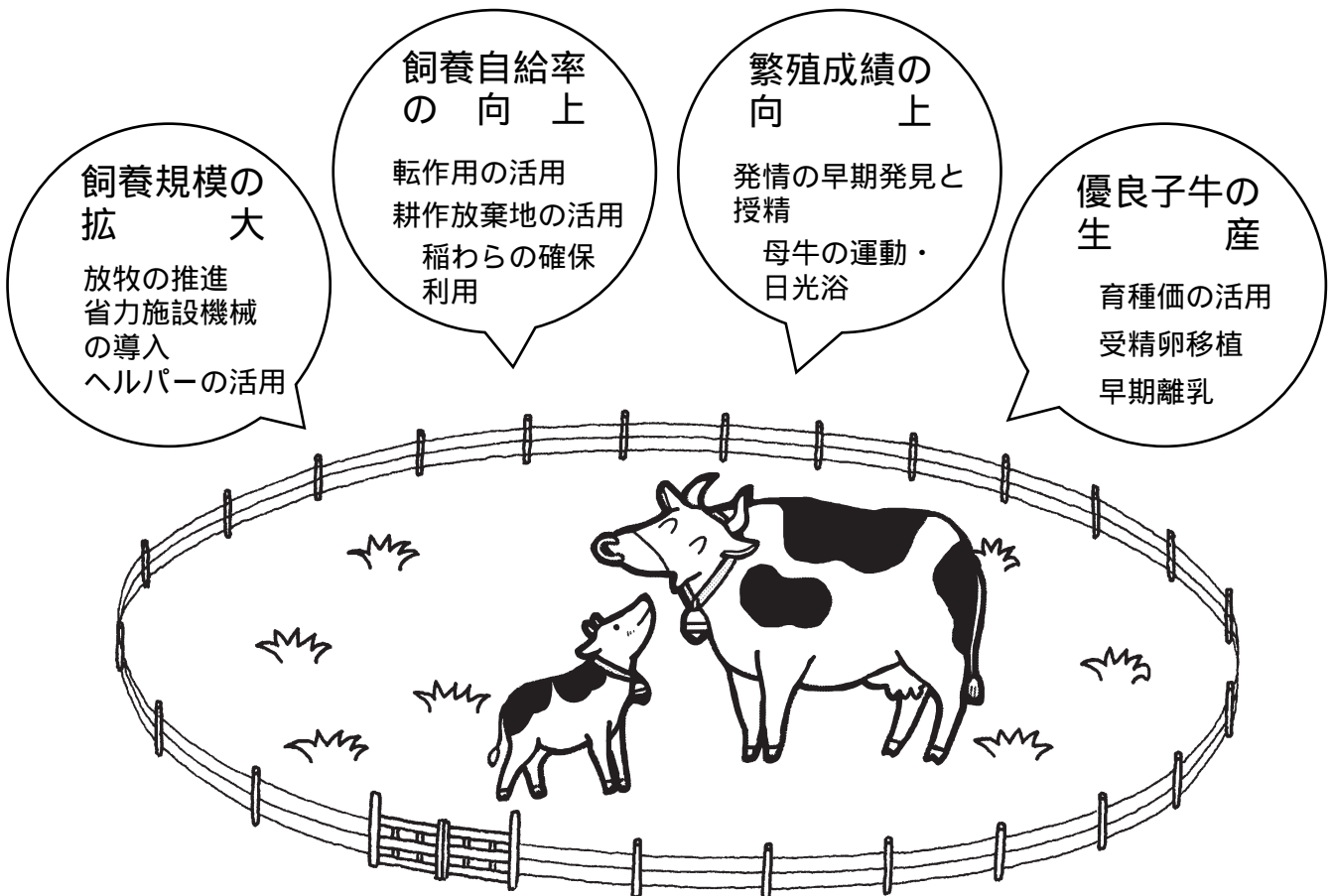
2. 肉用牛経営方式

(1) 肉専用種繁殖経営

方式名	排せつ物処理方式	繁殖雌牛飼養規模頭数	初産月齢	分娩間隔	出荷月齢	出荷体重	繁殖雌牛1頭当飼養管理労働時間	販売牛1頭当生産コスト	飼料自給率(TDN換算)	肉用牛得所	排せつ物処理コスト(経産牛1頭当)
		頭	か月齢	か月	か月齢	kg	時間	円	%	千円	千円
繁殖複合つなぎ飼	堆肥化	20	24	12.5	7	260	40	230	80	1,513	7
繁殖複合群飼	堆肥化	50	24	12.5	7	260	37	236	80	5,671	12

(2) 肉専用種繁殖肥育一貫経営

方式名	排せつ物処理方式	繁殖雌牛飼養規模頭数	初産月齢	分娩間隔	出荷月齢	出荷体重	繁殖雌牛1頭当飼養管理労働時間	販売牛1頭当生産コスト	飼料自給率(TDN換算)	肉用牛得所	排せつ物処理コスト(経産牛1頭当)
		頭	か月齢	か月	か月齢	kg	時間	千円	%	千円	千円
繁殖肥育一貫	堆肥化	繁殖 30 肥育 180	24	12.5	7 肥育 24	260 肥育 730	14	625	26	10,909	20



(3) 肥 育 経 営

方式名	排せつ物 処理方式	飼養規模	出荷月齢	出荷体重	1日当 り増体重	1頭当 り飼養 管理 労働 時間	生産コスト (素畜除)	飼料自給率 (TDN換算)	肉用牛 所得
		頭	か月齢	kg	kg	時間	千円	%	千円
肉専用種 肥育群飼	堆肥化	300	24	730	0.9	9	232	15	1,0147
乳用種 乳・肥育 一貫群飼	堆肥化	乳 180	17	735	1.4	8	243	15	1,0945
		F1 300	21	730	1.1		243		

良質肉の生産

優良素牛の導入
適正な飼料給与

肥育の効率化

肥育期間の短縮
飼養環境の改善

糞尿処理の 適正化

良質堆肥の生産
耕種農家との連携



その他酪農経営及び肉用牛生産の近代化を図るために必要な事項

1 . 家畜の改良増殖及び新技術・効率的な生産方式の開発・普及

乳牛の改良（受精卵移植技術・牛群能力検定）

肉用牛の改良（優良種雄牛の作出・優良雌牛群の整備）

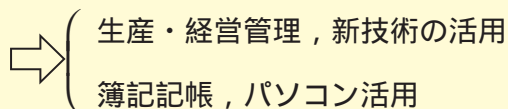
高能力牛の精密飼養管理技術・哺育ロボット・搾乳ロボット等飼養管理技術の活用

2 . 経営・技術指導

情報システムの整備

研修会等

経営診断等



3 . 畜産経営支援組織の育成

酪農ヘルパー及び肉用牛ヘルパーの育成

コントラクターの育成

4 . 環境にやさしい畜産を確立するための技術開発・普及

尿の簡易で低コストな処理技術の開発

堆きゅう肥の簡易な成分分析法の開発

5 . 家畜衛生及び畜産物の安全性の確保

伝染病の発生予防対策・集団衛生対策

衛生管理の徹底

動物用医薬品の適正使用・飼料及び飼料添加物の適正使用

飼料及び飼料添加物の適正利用

